

半導体と光通信の父。

未来を支える技術の原点が、ここにある。

AI クラウド

スマートフォン

データセンター

そのすべてを支える

半導体・光通信。

その礎を築いた

西澤潤一先生の挑戦を、

未来を担う世代へ。

入場
無料

高校生・
大学生・
一般の皆様へ

西澤潤一 生誕 100年 記念シンポジウム

2026

10.3 土

10:00 ~ 11:30 [開場 9:30]

東北大学百周年記念会館 川内萩ホール
〒980-0862 宮城県仙台市青葉区川内40

お申し込みはこちら



西澤先生って何をした人？

西澤潤一先生のご紹介

1926年(大正15年)誕生

宮城県にて生まれる。

1950年頃(24歳)

「PINダイオード」、「静電誘導トランジスタ」を発明

大学院3年目で、現在の半導体や光通信の受信装置の基礎となる画期的な素子を発明。学会からは定説に反すると猛反発を受ける。

1953年頃(27歳)

東北大学 助教授に抜擢

恩師である渡辺寧教授により、先輩助手10人を追い抜く異例の若さで昇進。不遇な扱いを受ける中でも研究に没頭する姿勢が評価される。

1950年代

光通信の「基本三要素」を発明

「半導体レーザー(発信)」「光ファイバー(伝送)」「フォトダイオード(受信)」の発明をすでにこの時期に達成し、現在のIT社会の礎を築く。

1974年(昭和49年)

日本学士院賞を受賞

高効率で超長距離の直流送電を可能にする「静電誘導トランジスタ(SIT)」の発明などが評価される(八木秀次博士が推薦)。

1983年(昭和58年)

IEEE ジャック・A・モートン賞を受賞

「SIT(静電誘導トランジスタ)の開発と光通信の基本3要素」

1989年(平成元年)

文化勲章を受章

長年にわたる科学技術への貢献が認められ受章。
※この間、東北大学第17代総長などを歴任。完全結晶育成法や高輝度LEDの開発、テラヘルツ波帯の研究などでも多大な成果を挙げ続ける。

2000年(平成12年)

IEEE エジソンメダルを受賞

世界最大の技術者組織である米国電気電子学会(IEEE)より、最高位の賞を受賞。

2003年(平成15年)

IEEE「西澤潤一メダル」創設/勲一等瑞宝章を受章

エジソンやグラハム・ベルなどに続き、世界で13人目となる個人の名を冠したメダルがIEEEに永久創設される。同年、勲一等瑞宝章を受章。

1926年(大正15)宮城県生まれ。東北大学工学部卒、大学院特別研究生。PINダイオード、静電誘導トランジスタ、半導体材料の完全結晶育成法、高輝度発光ダイオード(赤・黄・緑)、光ファイバーなどを発明、開発。世間の無理解と闘い、日本の科学技術の独創をリードした。東北大学電気通信研究所長、(財)半導体研究振興会会長を務め、東北大学第17代総長、岩手県立大学学長、首都大学東京(現・東京都市大学)学長を歴任。「半導体研究振興会」に抛り、大学の研究成果の社会活用に貢献。晩年はテラヘルツ領域の研究実用化にも成功した。1989年(平成元)文化勲章受章。2000年(平成12)世界最大の学会・米国電気電子学会(IEEE)エジソンメダルを受賞。2003年(平成15)IEEEが「西澤潤一メダル」を永久創設。勲一等瑞宝章受章。日本学士院会員、東北大学名誉教授、宮城県名誉県民など。2018年(平成30)逝去。

光通信の父

世界中の通信網の礎

ミスター半導体

現代電子技術の基礎を築く

教育者

数多くの研究者を育成

ビジョナリー

東北大学から未来都市構想へ

西澤潤一先生 生誕100年記念シンポジウム

PROGRAM

第一部 基調講演「西澤潤一先生が変えた世界と、これからの私達の社会」 東北大学教授 遠藤 哲 郎

第二部 特別パネルディスカッション
「ご家族 門下生 産業界 研究者 それぞれが語る『西澤潤一』」

入場無料

- パネラー 高橋 恵子 様(西澤潤一先生のご長女)
- 早坂 伸夫 氏(キオクシアホールディングス株式会社 シニア・エグゼクティブ・アドバイザー)
- 倉林 徹 氏(放送大学 秋田学習センター 所長、西澤潤一研究室・半導体研究振興会 半導体研究所 同窓会)
- 加藤 諭 氏(東北大学 学術資源研究公開センター 史料館長・教授)

未来を変えるのは、技術だけではない。挑戦する人を育てる思想である。
西澤潤一先生が遺したものを、次世代へ。

申込締切: 2026年 9月 27日(日)

詳細・お申し込みはこちらから



高校生・大学生・
一般の皆様が
ご参加を
歓迎します。

※定員を超える申込をいただいた場合には、締切前に申込受付を終了させていただく可能性がございます。
※プログラムは現時点での情報のため、今後変更になる場合もございます。

同日開催



東北大学119周年ホームカミングデー

〔日時〕 2026年10月3日(土)
13:00~16:00

〔会場〕 東北大学百周年記念会館
川内萩ホール および 周辺特設会場

記念展示

会場: 西澤記念資料室(川内キャンパス)
詳細は上記二次元コードをご確認ください

お問い合わせ

東北大学 総務企画部 基金・校友事業室(萩友会事務局)

〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1 TEL.022-217-5059(受付時間 平日9:00~17:00) Email.alumni@grp.tohoku.ac.jp